

令和8年7月吉日

各都道府県市町村教育委員会教育長 様
各国立大学法人・公立・私立中学校長 様
各中学校技術・家庭科担当者 様
関 係 各 位

第63回東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究大会
石川大会 大会運営委員長 坂下 功

第63回東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究大会 令和8年度 石川県中学校技術・家庭科研究大会 石川大会のご案内 (最終案内)

時下の候、皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
この度、第63回東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究大会石川大会並びに令和8年度石川県中学校技術・家庭科研究大会を、県下4会場で開催することとなりました。
本大会では、「生活を創り出す実践力の育成をめざして」を研究主題に、「生活や社会につながる題材構想の工夫」を副題として、研究を進めております。
多くの皆様方にご参加いただき、ご指導賜りますようご案内申し上げます。

大会開催要項

1 主催

全日本中学校技術・家庭科研究会
東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究会
石川県中学校技術・家庭科研究会

2 後援

石川県教育委員会
金沢市教育委員会 白山市教育委員会 能美市教育委員会
石川県小中学校長会 石川県小中学校教育研究会
公益財団法人日本教育公務員弘済会石川支部
石川県産業教育振興会
公益社団法人全国中学校産業教育教材振興協会

3 期 日

令和8年10月8日(木) 午前 理事研修会 石川県文教会館
午後 全体会 石川県文教会館
10月9日(金) 公開授業、分科会 石川県内中学校 4会場

4 日 程

【10月8日(木)】

10:00	10:30	12:00	13:00	13:40	15:05	15:20	16:20	16:35
理事 受付	理事 研修会	受 付	開会式	全 体 会 指 導 講 評	休 憩	記念講演	閉会式	

【10月9日(金)】

8:30	9:00	9:30	9:45	10:35	10:50	11:40	12:40	13:25	13:40	14:25	14:35
受 付	開会式	休 憩	公 開 授 業	休 憩	授業研究協議 指 導 講 評	昼 食	研究発表① 研究協議 指 導 講 評	休 憩	研究発表② 研究協議 指 導 講 評	閉会式	

5 研究主題

「生活を創り出す実践力の育成をめざして」

～生活や社会につながる題材構想の工夫～

6 主題設定の理由

急激に進む少子高齢化と様々な技術革新、生産年齢人口の減少によって生ずる諸課題を解決するためには、他者と協働しながら予測困難な課題にも粘り強く向き合うことが求められている。また、生徒が、持続可能な社会の担い手となるためには、生活や社会から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けて主体的に実践することが重要である。

そこで本研究では、研究を進めるにあたり、生徒が学習に臨む態度等について実態調査を行った。その結果、主体的に学習に取り組む意欲はあるものの、学習が実生活や自己の将来につながっているという意識が低いことがわかった。

この結果を受け、「生活を工夫し創造する資質・能力」を育むことを念頭に、「生活や社会の変化に主体的に関わり、自立を目指して行動する力」を育てたい力と捉え、これを「生活を創り出す実践力」と定義し、研究主題を「生活を創り出す実践力の育成をめざして」とした。また、生徒が題材を通して、「何のために学ぶのか」、「何ができるようになるのか」を意識し、学びを実生活や社会と結び付け、自分ごととして考えることができるよう、副題を「生活や社会につながる題材構想の工夫」とした。

7 指導助言

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官

参事官（デジタル学習基盤担当）付情報教育振興室 教科調査官

国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 渡 邊 茂 一 様

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官

国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 熊 谷 有紀子 様

8 記念講演

演題 「学びを実践すれば解決策を導き出すことができる」

講師 会宝産業株式会社 代表取締役社長 近 藤 高 行 氏

プロフィール

○経歴

1974 年、石川県金沢市生まれ。

「自動車のあとしまつを通して日本、世界の環境に貢献する」をパーパスに掲げ、使用済み自動車から取り出したエンジンや部品を世界約 90 ヶ国へ輸出する資源循環型ビジネスを展開。2015 年に先代から事業を承継後、徹底したシステム化と顧客視点の経営により、自動車リサイクル業界をリードするグローバル企業へと成長させる。

2026 年は「全方位シンカ（新化・進化・深化・親化・真価）」を経営方針として掲げる。この言葉には、技術の向上（進化）だけでなく、新しい価値の創造（新化）や、お客様・地域との絆（親化）など、多角的な成長への意志が込められている。「お客様の喜びを我が喜びとする」という経営理念を軸に、社員一人ひとりが自律的に行動する組織づくりに注力している。その活動はビジネスの枠を超え、JICA（国際協力機構）を通じた途上国での技術者育成や農業分野への参入など、持続可能な社会の実現に向け多角的に取り組んでいる。

2018 年、第 2 回「ジャパン SDGs アワード」推進副本部長（外務大臣）表彰受賞。



○会社概要 会宝産業株式会社 <https://kaihosangyo.jp/>

1969 年創業。自動車リサイクル事業の先駆者として、適正処理技術の普及と部品の再利用をグローバルに展開。同社の技術や SDGs への取り組みは、中学校の技術・家庭科における「環境・資源の有効活用」や「キャリア教育」の生きた教材として注目され、多くの学校から工場見学や学習支援を受け入れている。



9 全体会

(1) 全体会会場 石川県文教会館 住所：石川県金沢市尾山町 10-5 TEL：076-262-7311

電車でお越しの場合

◇北鉄バス

金沢駅（東口）発 （香林坊方面行き）南町・尾山神社下車、徒歩 2 分

◇タクシー

金沢駅（東口）より約 6 分

車でお越しの場合

金沢東 IC より 約 13 分（約 5.3km）

金沢西 IC より 約 17 分（約 6.9km）

※駐車スペースがありません。下図の近隣有料駐車場をご利用ください。



P番号	パーキング名	P番号	パーキング名
1	システムパーク尾山町	7	N P C 金沢尾山町
2	三井のリパーク(金沢尾山町第3)	8	兼六荘パーキング
3	CHP 上堤町	9	金沢別院大谷廟所駐車場
4	名鉄協商金沢尾山町第2	10	金沢商工会議所会館地下駐車場
5	センチュリーパーク尾山町	11	パークステーション尾山町
6	三井のリパーク(金沢尾山町第2)	12	パークステーション 百番尾山町
		13	北國パーク

10 分科会

(1) 会場校 発表担当県

	内 容	会 場 校	授 業 者	発表担当県
第 1 分科会	C エネルギー変換の技術	能美市立根上中学校	大和 弘明	福井県
	A 材料と加工の技術			石川県
第 2 分科会	D 情報の技術	金沢市立大徳中学校	一山 宗平	三重県
	B 生物育成の技術			富山県
第 3 分科会	A 家族・家庭生活	白山市立北星中学校	今村 華	愛知県
	C 消費生活・環境			石川県
第 4 分科会	B ①衣食住の生活（食生活）	金沢市立高尾台中学校	宮崎佳乃子	静岡県
	B ②衣食住の生活（衣住生活）			岐阜県

(2) 各分科会会場について

第 1 分科会	能美市立根上中学校 〒929-0124 能美市浜町ワ 60 番地 TEL:0761-55-0160 FAX:0761-55-0456 ◇IR いしかわ鉄道 金沢駅発 能美根上駅より徒歩 13 分 ◇タクシー 金沢駅より約 40 分(約 27km) 能美根上駅より約 4 分（約 1km）	
第 2 分科会	金沢市立大徳中学校 〒920-0352 金沢市観音堂町ト 35 番地 TEL:076-267-5027 FAX:076-267-5028 ◇北鉄バス 金沢駅(西口)発 四十万金石線 観音堂下車 徒歩 9 分 ◇タクシー 金沢駅より約 15 分（約 5km）	
第 3 分科会	白山市立北星中学校 〒924-0026 白山市平木町 112-1 TEL:076-275-4454 FAX:076-275-4457 ◇IR いしかわ鉄道 金沢駅発 西松任駅下車 北鉄バス（千代野線）西松任駅発 北安田中央下車 徒歩 22 分(約 1.6km) ◇タクシー 金沢駅より約 35 分(約 13km) 西松任駅より約 4 分（約 2.4km）	
第 4 分科会	金沢市立高尾台中学校 〒921-8155 金沢市高尾台 1 丁目 128 番地 TEL:076-298-6931 FAX:076-298-9936 ◇北鉄バス 金沢駅（東口）発 光が丘住宅線 窪南下車 徒歩 8 分 ◇タクシー 金沢駅より約 25 分（約 8km）	

(3) 各分科会について

第 1 分 科 会	Cエネルギー変換の技術	
	授 業 者	大和 弘明 (能美市立根上中学校 教諭)
	題 材 名	エネルギーの地産地消への挑戦～私たちの身近な環境発電イノベーション～ C (3)
	【授業概要】 エネルギーに関する課題に気づく。その上で、再生可能エネルギーの特徴を理解し、社会の要求や環境負荷などについて多角的に検討して、発電システムの最適化を図ることを目指す。計測によってデータを可視化し、3E (安定供給・経済性・環境適合) の観点から、多角的な議論を行い、持続可能な社会の構築に主体的に寄与しようとする実践力につなげていく。	
	A材料と加工の技術	
	提 案 者	青木 正和 (野々市市立布水中学校 教諭)
科 会	題 材 名	多角的な視点で考えるイスの開発～使用者・生産者の目線で考えるイスの製作～ A (2)
	【研究概要】 使用者・生産者それぞれの立場を考慮したイスを製作し、生活や社会に役立つもののづくりについて考える。木材を材料に使い、機能や安全に関する工夫を凝らして手工具で製作する。構造と強度の関係や木質材料、作業時間と人件費などについて学習し、社会的側面・環境的側面・経済的側面を踏まえた製作活動につなげていく。	

第 2 分 科 会	D情報の技術	
	授 業 者	一山 宗平 (金沢市立大徳中学校 教諭)
	題 材 名	計測・制御システムによる新たな生活様式への工夫～スマートホームのグループ開発～D (3)
	【授業概要】 グループごとに、課題とセンサ類を決定し、スマートホームシステムの制御プログラムを作成する。デバッグを繰り返しながら、実生活で起こり得る課題の解決を目指す。試行錯誤する中で、情報の技術の活用法や技術の発展と活用によって創り出される、新たな生活様式の理解と実践につなげていく。	

第 3 分 科 会	A家族・家庭生活	
	授 業 者	今村 華 (白山市立北星中学校 教諭)
	題 材 名	幼児が安心できるよりよい関わり方の工夫～幼児とふれあって発見！～ A (2)
	【授業概要】 幼児の発達や生活の特徴を踏まえ、幼児とのよりよい関わり方を考え、工夫し、改善できるようにすることを目指す。授業では、幼児との触れ合う活動に向けた各グループの交流計画に対する保育園の先生からのアドバイスを生かして、計画を再考する。その際、「幼児が安心できる関わり方」の視点でも見直し、さらに改善し、触れ合う活動につなげていく。	
	C消費生活・環境	
	提 案 者	按察 志保 (加賀市立東和中学校 教諭)
科 会	題 材 名	環境に配慮した消費者としての行動の工夫～我が家のエコプロジェクト～ C (3)
	【研究概要】 「衣食住の生活」との関連を図った「消費生活・環境についての課題と実践」により、環境に配慮した自立した消費者を育成することを目指す。自分や家族の消費生活の中から問題を見いだして課題を設定し、計画を立てる。他の生徒との交流をもとに改善し、家庭で「エコプロジェクト」の実践を行う。実践を振り返り、さらに計画を改善することで今後の家庭や地域社会での実践につなげていく。	

第 4 分 科 会	B①衣食住の生活 (食生活)	
	授 業 者	宮崎佳乃子 (金沢市立高尾台中学校 教諭)
	題 材 名	地域の食材を用いた1食分の調理～学ぼう！つくろう！じわもん御膳～ B (2) (3)
	【授業概要】 金沢・石川ならではの食文化についての理解を深め、実習を通して地域の魅力を自分の食生活に取り入れていくことを目指す。実習では、地域の食材や郷土料理の特徴を生かした、だしを使った汁物または煮物の調理を行う。更に1食分の和食の調理「じわもん御膳」の調理計画を進め、家庭での実践につなげていく。	

11 大会参加費（資料代を含む）

4, 0 0 0 円

12 参加申込方法及び申込期間

(1) 申込期間 令和 8 年 7 月上旬～9 月 1 8 日（金）

(2) 申込方法 WEB 申し込み （取扱業者：日本旅行 金沢支店）

※大会参加申込WEBサイトから、ご自身でお申し込みください。

申し込みフォームには、石川県中学校技術・家庭科研究会公式WEBサイトのリンク
またはQRコードからお進みください。

<http://www.ajgika.ne.jp/~ishikawa/>

※資料参加の方は、別途送料が必要になります。

代理でのお持ち帰りは、大会会場の受付でお渡しします。



(3) 昼食代（お茶付き） 1, 1 0 0 円

※各分科会場の周辺には、食事施設が十分ではありませんので、お弁当をご注文されること
をお勧めします。

13 大会事務局

石川県中学校技術・家庭科研究会 事務局長 新出 みか

〒920-0067 石川県金沢市二宮町 1 番 1 号（金沢市立長田中学校内）

TEL：076-231-0035 FAX：076-231-0039

E-mail：ishikawa.pref.gika@gmail.com